第 10 よしの保育園

1. よしの保育園

1 施設概要

事業内容 認可保育園

創 設 日 昭和 48 年 4 月 1 日 緑町保育所開始
 平成 26 年 4 月 1 日より社会福祉法人桜木会へ経営移譲
 平成 27 年 10 月 1 日より現所在地へ移転新築
 よしの保育園として開始

園 舎 木造平屋（屋上あり）
 延床面積 862.15 m²
 建物面積 1004.84 m²

各部屋面積 0 歳児 つぼみ組 38.19 m²
 1 歳児 すみれ組 52.98 m²
 2 歳児 たんぽぽ組 47.39 m²
 3 歳児 ちゅうりっぷ組 41.47 m²
 4 歳児 ひまわり組 43.58 m²
 5 才児 さくら組 44.82 m²
 遊戯室 172.35 m² 事務室 38.80 m²

定 員 90 名

0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
11 人	14 人	14 人	17 人	17 人	17 人	90 人

2 施設理念・方針・目標

《保育理念》 「すべての育ちは 遊びから」
～生涯にわたる生きる力の基礎を培う～

《保育方針》 「よく笑い、しんけんに遊び、のびのび育つ」

《保育目標》 **【主体性】【健康な心と体】【社会性】**

【主体性】

- ・子どもの最前の利益が最優先され、ひとりひとりが主体として受け止められることで、安心して自分の気持ちを表現し、自己を肯定する気持ちが**育ち**ます。
- ・自らの様々な活動を楽しむ中で、考えたり、工夫しながら遊びに夢中になる事で自信を持って行動できる子に**育ち**ます。

【健康な心と体】

- ・食べることは生きる事。地元下北の食材を中心に完全手作りの給食・おやつを食べて、元気に**育ち**ます。
- ・まあるい園舎の特性を活かし、4.5度傾いた屋上で夢中になって運動することで、自然に健康な体が**育ち**ます。

【社会性】

- ・友達と楽しく遊ぶことで、人との様々な関わり方に気づき、決まりを守る大切さを知り、道徳性が**育ち**ます。
- ・地域の人と関わる事で、伝承遊びや伝統行事を知り、日本人としての誇りや地域に親しみを持つ心が**育ち**ます。

3 総括

(1) 保育研究大会 北海道・東北ブロックにて優秀賞受賞

むつ市より経営移譲され、個人スキルに頼る形での運営に危機感を感じ、子ども一人ひとりの健やかな育ちを保障し、保育の質を向上していくための手法や、大切にすべき保育実践の視点について、平成 29 年 9 月より本部のバックアップを受け、園全体で実践研究に取り組んだ。

発表テーマは「組織の 3 要素と保育実践～トカゲの飼育から見えた保育者と子どもたちの育ち～」とし、本テーマに基づき、経験的に培われてきた暗黙の実践知を、可能な限り可視化する過程の中で、保育者が培ってきた保育の質を具体化することができ、組織として今必要なことが、より明確になった。

本研究は、保育研究大会という枠組みの中で、北海道・東北ブロック大会優秀賞という、満足な結果を残し終えることができた。しかし、仮説として制定した「組織の 3 要素に基づいて実践を行うことで、保育勘のズレは解消されるのではないか」に対する今後の課題（貢献意欲やコミュニケーション力向上）については、引き続き実践研究を深めていく必要がある。

(2) 3 歳以上児保育料無償化

令和元年 10 月から幼児教育・保育無償化が始まり、3～5 歳児については利用料が無償化となった。

給食の材料にかかる費用については、無償化後も引き続き保護者負担となるが、年収 360 万円未満相当の世帯は免除となり、給付費の算定において一人当たり 4,500 円の加算が創設された。

保護者負担となる副食費・主食費については、青森県保育連合会むつ支部より目安として示された金額や実際の支出額を鑑みて、月額主食費 500 円、副食費 5,000 円と設定した。

実費徴収金額が世帯年収によって異なることへの配慮（個人情報保護）を事前準備段階で行えたことや、無償化に伴う保護者説明会の実施、職員への制度説明等を計画的に実施したことで、大きな混乱もなく保護者の理解を得ることができた。

(3) 青森県認証評価制度における認証

法人本部と連携し、「より魅力ある職場づくり」を目指し、職員の処遇改善、人材育成、サービスの質の向上等に取り組み申請を行った結果、令和 2 年 2 月に認証事業所として認証された。

保育分野では下北初の認証であり、地域に根付いた質の高い保育サービスを継続してが提供できるよう、今後も体系的に取り組んでいきたい。

(4) 保育サービス拡充の検討

- ・国立社会保障・人口問題研究所「将来の男女 5 歳階級別推計人口」データによると、むつ市の 0～4 歳人口、2015 年 2100 人に対して 30 年後の 2045 年には 954 人と二分の一以下に推移している。

- ・保育料無償化に伴い 1 号認定については満 3 歳から保育料が無償化となる。

- ・働き方改革等のあおりを受け、育休取得促進が今後も加速すると、必然的に単価の高い 0 歳児の入園が減少する事が見込まれる

上記現状から、ニーズに沿った保育サービス拡充を検討する必要がある。

4 利用状況及び利用者状況の報告

(1) 月末別在席状況 (年齢別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳	7名	7名	8名	9名	9名	11名						
1歳	17名	17名	18名									
2歳	14名	15名	16名									
3歳	17名	17名	18名									
4歳	15名											
5歳	17名	18名										
合計	87名	89名	93名	94名	94名	96名						

(2) 月別入退園状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入園	18名	2名	4名	1名	0名	2名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
退園	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

(3) 延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延数	18名	17名	12名	15名	14名	13名	14名	8名	24名	18名	19名	9名

(4) 一時預かり利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延数	0名	11名	6名	8名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	5名

4 組織管理

(1) 職員構成 (令和2年3月31日現在)

職種	常勤	非常勤
園長	1	
主任	1	
保育士	12	2
看護師	0	2
栄養士	1	0
調理師・調理員	1	3
事務員	1	0
技能員	1	0

(2) 職務分担

職務内容	主担	副担
1. 園の運営及び管理に関すること 2. 苦情受付及び相談の対応に関すること 3. 職員の指導監督に関すること 4. 人事及びサービスの関すること 5. 公印の印鑑保管に関すること	施設長	主任保育士

<ol style="list-style-type: none"> 1. 資産及び備品の保管・管理に関すること 2. 旅行命令・旅費支給の関すること 3. 納入業者に関すること 4. 職員の福利厚生に関すること 5. 職員の勤務命令に関すること 6. 職員会議及び職員研修に関すること 7. 福祉オンブズマンとの連絡調整に関すること 8. その他命令に関すること 	施設長 事務員	主任保育士
<ol style="list-style-type: none"> 1. 収支予算及び決算に関すること 2. 会計区分毎の試算に関すること 3. 出納事務（集金等）に関すること 4. 庶務一般（来客対応等）に関すること 5. 物品の調達・保管に関すること 6. 文書収発に関すること 7. 職員の勤怠管理に関すること 8. 職員の労働安全衛生管理に関すること 9. その他命令に関すること 	施設長 事務員	主任保育士
<ol style="list-style-type: none"> 1. 園の保育・職員全般に関すること 2. 各リーダーとの連絡調整に関すること 3. 管理運営会議に関すること 4. 入園判定会議に関すること 5. 各検討会議に関すること 6. 保護者の苦情・相談に関すること 7. 保護者及び、ご家族の個人情報保護・取扱いに関すること 8. ご家族との連絡調整に関すること 9. 行政・医療・学校関係との連絡調整に関すること 10. 園行事の企画・運営に関すること 11. 地域住民との交流に関すること 12. ボランティア及び訪問の受け入れに関すること 13. 事業計画・事業報告に関すること 14. 日誌・ケース記録に関すること 15. その他命令に関すること 	主任保育士 統括	リーダー 保育士
<ol style="list-style-type: none"> 1. 嘱託医との連絡調整に関すること 2. 医療品の保管・管理に関すること 3. 園児・職員の健康管理に関すること 4. 園児の服薬管理に関すること 5. 園児の受診時の付添・対応に関すること 6. 感染症対策に関すること 7. 感染症予防に関すること 8. その他命令に関すること 	看護師	分野別リーダー
<ol style="list-style-type: none"> 1. 園児の診察及び相談に関すること 	嘱託医	看護師
<ol style="list-style-type: none"> 1. 給食、食材業者との連絡調整に関すること 2. 調理機器の保管・管理に関すること 3. 給食材料の調達・保管・管理に関すること 	栄養士	調理員

4. 給食献立に関すること 5. 残量調査・嗜好調査に関すること 6. 保存食・非常食の保管・管理に関すること 7. 厨房内の衛生管理に関すること 8. 日誌・検討会議に関すること 9. その他命令に関すること		
1. 防火管理に関すること 2. 防犯防災計画・実施に関すること 3. 建物設備（消防設備・空調機器等）の保全に関すること 4. 施設内の清掃に関すること 5. 園児の再受診・園外行事参加時等の運転業務に関すること 6. その他命令に関すること	事務員 用務員	

(3) 人材育成

①研修参加報告

(内部研修)

キャリアパス一覧表に基づき、階層別人材育成計画を作成。求められる業務や能力を体系的な研修計画で補えるよう実践した。また、キャリアパスと連動した人事考課シートを活用し、人材育成に努めた。新任職員については採用後に 5 日間の日程で、各分野のマニュアル読み合わせや、午睡チェック、食事介助等の実務研修を、オリエンテーションプログラムにて行なった。

開催日	研修名	内容	参加者氏名
3月26日	乳児・幼児における救命	AEDの使い方	全職員
3月30日	OJT指導者研修	人材育成スキル向上	2級～4級
5月31日	人権擁護	一人ひとりの子どもの人権を尊重した保育実践	全職員
6月14日	コミュニケーションと安全対策	コミュニケーションの重要性	全職員
6月17日	カラーガード研修	カラーガードの基本動作	3級～6級
6月28日	PDCAサイクルに基づいた指導計画の策定	指導計画作成の着眼点	4級～6級
7月30日	保育所保育指針の理解	要録の書き方	全保育士
8月23日	感染症対策研修	標準予防策等	全職員
8月27日	発達障害について	発達障害とは	3級～6級
9月25日	食育とは	子どもにとってなぜ食育が重要なのか	全保育士
9月25日	乳児・幼児における救命	AEDの使い方 胸骨圧迫方法等	全職員
10月18日	苦情解決に関する研修会	当園の体制や取組、規程について	全職員
10月30日	保育ソーシャルワークの理解	保護者の気持ちに寄り添った支援	3級～6級
10月31日	保育ドキュメンテーションとは	ドキュメンテーションを活用した保育実践	6級
11月8日	パソコン研修	ワードで表を作成	4級～6級
11月20日	職場での言葉遣い	職員間での言葉遣い	3～6級
12月6日	嘔吐物処理方法	嘔吐物処理方法の再確認	4級～6級
12月18日	保育園の役割とサービス	保護者や地域から期待されている事	3級～6級
1月20日	リーダー研修	組織におけるリーダーの役割	3級～6級

1月21日	自分のキャリアプラン	これからの保育士に求められること	3級～6級
1月28日	菜園の作り方	野菜作りに伴う土の作り方・育て方	3級～6級
2月17日	乳幼児の発達	月齢・年齢に即した発達過程	3級～6級

(外部研修)

処遇改善加算Ⅱに伴うキャリアアップ研修については階層に応じて計画的に参加することができた。但し、外部研修受講後の研修報告体制に課題が残る。

開催日	研修名	内容	参加者氏名
5月8日	就学事務説明会・就学相談研修会	教育支援の状況について	近藤泰子
5月16日	平成31年度保育所新任保育士研修	とりまくと現状と課題	舘田和美 中村瑠美 田中渚沙
6月12日	県保連保育研究大会青森大会	自園発表他	真手めぐみ 中村麻衣 吉田咲子 渡辺尚子
6月25.26日	キャリアアップ研修	幼児教育分野	吉田咲子 渡辺尚子
7月9日	保育所セミナー	保育現場における障がい理解教育の必要性とその在り方について	川仁登紀子 小川舞衣 舘田和美
7月11.12日	北海道・東北ブロック保育研究大会	自園発表他	真手めぐみ
7月18日	むつ支部全職研修	たにぞうコンサートセミナー	全保育士
7月25日	特別支援教育研修講座		近藤泰子
7月30日	幼・小・保連携会議	二田小との情報交換	真手めぐみ 近藤泰子
7月31日	幼・保と小学校との連携講座	小学校に入るまでできてほしい事等	近藤泰子 風間ありす
8月8.9日	キャリアアップ研修	乳児保育分野	吉田咲子 渡辺尚子
8月21日～22日	職場担当者研修	OJTのしくみ整備他	近藤泰子
8月24日	保育の学校	専門分科会に分かれ、専門性を高める	近藤泰子 吉田咲子 田中渚沙
8月30日	東日本・家族応援プロジェクト	地域の家族力を高める支援者の支援	真手めぐみ 中村麻衣
9月1日	発達障害児支援者研修	気になる子への関わり方	高橋祐子
9月12日～13日	北海道・東北ブロック正副合同会議	ブラック保育園を考える事例発表	真手めぐみ
9月17日	新任保育者研修	ビジネスマナー他	中村珠美 田中渚沙
9月27日	青森県知的障害教育研究大会	自立と社会参加を目指した特別支援教	真手めぐみ

		育の充実	
9月30日	福祉サービス苦情解決研修会	苦情事例の傾向・果たすべき役割	山本英樹
9月30日	保育サービス提供体制構築支援事業	保育所のICT導入事例	真手めぐみ
10月8日	県保連 保育者研修会	リスクマネジメント	真手めぐみ 川仁登紀子 田中渚沙
10月15日	県保連 主任・主幹研修	アタッチメント 非認知	近藤泰子 中村麻衣
11月12日 ～13日	キャリアアップ研修	障がい児保育	吉田咲子 渡辺尚子 風間ありす
11月13日	養成講座研修	子どもの貧困問題	近藤泰子
11月27日 ～28日	キャリアアップ研修	マネジメント	川仁登紀子
12月5日	養成講座研修	保育園・認定こども園の現場	近藤泰子
12月6日	未来フォーラム	新制度5年の振り返り	真手めぐみ
12月6日	接遇研修	クレーム対応、接客、電話対応	風間ありす 田中渚沙
12月26日	発達性強調運動症の理解と対応	DCDの特性理解	川仁登紀子 渡辺尚子 田中渚沙
1月5日	養成講座研修	子どもの居場所作り	近藤泰子
1月8日	家庭教育支援 ネットワーク形成研修会	関係機関との連携	近藤泰子
1月10日	養成講座研修	体験実習	近藤泰子
1月17日	部下からやる気と結果を引き出す方法	人材育成ノウハウ	真手めぐみ 近藤泰子
1月23日	養成講座研修	地域の人材とネットワークの形成	近藤泰子
1月28日	施設経営セミナー	養成校の進路状況等	真手めぐみ
2月4日	明の星短期大学意見交換会	養成校との意見交換	真手めぐみ
2月10日	養成講座研修	子どもの居場所作りと課題	近藤泰子
2月12日～ 13日	青森県社会福祉経営塾	保育人材不足の動向を踏まえた対応	真手めぐみ
2月21日	研究発表フォローアップセミナー	令和2年北海道東北ブロック研究大会 に向けたプレ発表	真手めぐみ

(4) 会議、委員会開催状況報告

①会議

会議名	内容	構成	開催日
職員会議 給食会議	<ul style="list-style-type: none"> ・行事連絡・給食会議 ・クラスの様子 ・業務に関する職員間の連絡調整、その他必要事項の検討 	全職員	4/1・5/9 6/6・7/3 8/7・9/10 10/4・11/15 12/4・1/9・2/6 3/7
リーダー会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各種専門分野の係わる事項 ・保育内容や人材育成等に係る改善、見直し等 	園長 主任保育士 クラスリーダー 保育士	4/19・5/15 6/13・7/26 8/30・9/19 10/3・10/18 11/29・12/27
ケース会議	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画を用いてケース対象児の様子、状況を把握し・共有し、支援計画を協議 	園長 主任保育士 保育士	4/24・5/29 6/24・7/26 8/29・9/26 10/9・11/19 12/16
クラス会議	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの状態確認、様子、困りごと等、園長・主任との情報交換 	各クラス保育士	月1回各クラス 毎の会議開催
行事打ち合わせ会議	<ul style="list-style-type: none"> ・夏まつり、運動会、卒園式、新年度等 	全職員	各行事前

②専門分野

専門分野名	内容	担当
保育実践	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針・理念・保育課程・指導計画に基づいた保育実践 	専門リーダー 保育士
障害児保育	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の活用 	主任保育士
地域・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携 ・保護者支援・子育て支援 	分野別 リーダー
保健・衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策に関わる事項 ・与薬に関わる事項 ・美化に関わる事項 ・その他保健・衛生に関わる事項 	分野別 リーダー
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメント・安全管理 	分野別 リーダー
食育・食物アレルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・食育計画の作成 ・食物アレルギーに関する事項 	分野別 リーダー

(5) 年齢別保育実績

0 歳児	一人ひとりの生理的欲求(食事、排泄、睡眠等)が満たされ、安心して過ごせるようにし、安心できる保育者に見守られながら、這う、伝い歩き、歩くなどの全身運動を楽しむ
1 歳児	安心できる環境の下で、安定した生活リズムを身に付け、様々なことに興味関心を広げながらお友達と関わったり身の回りのことをやってみようとする
2 歳児	安心して過ごす中で日常生活や遊びから様々なことに目を向け興味を持ち、友達と発見する喜びを共感しながら楽しむ
3 歳児	自己を発揮できる安心した環境の中で、生活の仕方が分かり、基本的な生活習慣をしいに身に付け、色々なことに興味・関心を持ち意欲的に活動する
4 歳児	安心・安全な環境の中で、保育者や友達とのつながりを広げ、一人ひとりが遊びや生活に主体的に関わろうとする
5 歳児	自分で考えて行動することに自信を持ち、友達とひとつの目標に向かって力を合わせて活動することで、達成感や充実感を味わう

(6) 健康管理 (健康管理について取り組み実績を記載)

- ・内科健診・歯科検診を年 2 回 (5 月・11 月) 実施。毎月 1 回健康診断の日に、身長・体重測定その他、爪や頭皮、皮膚の状態を確認し、保護者へフィードバックすることで、健康増進を図った。

(7) 施設運営 (管理、事務)

- ・施設の設備管理を強化し、安全点検日に修繕すべきものは早急に対応しながら施設運営に支障をきたさないように努めた。
- ・施設内外の環境美化に努め、清潔かつ快適な環境作りに努める。

(8) 衛生管理

①感染症対策として、日常の衛生管理の他、感染拡大時の衛生管理についてもマニュアルに明文化し、組織的に標準化された対策が講じられるよう努めた。

②感染症等発生報告書として県への報告事案

- ・手足口病…7/26～7/31 収束 計 14 名
- ・ノロウイルス…1/24～1/29 収束 計 10 名

ノロウイルスについては保健所の立入り検査に至ったが、感染症対策についてはマニュアル整備含めしっかりなされていると評価されている。しかし、オムツの交換方法が職員一人ひとり比べると若干個人差があった事に加え、特に 3 歳以上児の担任になると、オムツ換えに携わる機会が極端に減るため、オムツ換え方法のマニュアルの再確認を行い、定期的に確認を行えるよう整備した。

(9) 安全管理 (安全管理の強化事項や取組、その実績とヒヤリハットの報告件数等のデータ)

令和元年度 ヒヤリハット統計 危険度高 10.8%

分類・件数	危険度高	内容
・外傷 37 件 ①遊び中 13 件 ②噛みつき 14 件 ③移動中 3 件 ④その他 7 件	2	・戦いごっこ ・4 月当初の噛みつき増 1 歳児中心、後半 0 歳児 他気になる子 ・お片付けへの導入の配慮

・ 動静確認 10 件	3	・ 保育士が気づかぬうちに部屋からいなくなっていた ・ 部屋に取り残してしまった
・ 整理整頓 11 件	3	・ マークシールが剥がれており場所の取り合い ・ 職員・子どものはさみ管理徹底 ・ ロールカーテンの紐
・ 遊ばせ方 7 件	1	・ 0 歳児が 1 歳児に踏まれそうになっていた
・ 報連相 5 件		・ 保護者への引継ぎ事項の伝え忘れ
・ 与薬忘れ 4 件		・ 食前薬与薬忘れ
・ 要修繕 2 件		・ 花壇のフェンスを触りとげが刺さった
・ 給食関係 6 件		・ アレルギー対応 ・ 箸が折れていた ・ アルミホイル誤飲の恐れ ・ 主に 0 歳児の離乳食完了していない児への配慮
合計 83 件	9 件	

統計を取り始めた平成 29 年度は、100 件中危険度の高い事案が 39 件、全体の 39%、平成 30 年度は 125 件中危険度の高い事案が 41 件と全体の 32.8%を占めるデータから、ヒヤリハット件数に対して危険度の高い事案割合が減少傾向にあると言える。組織的な安全対策が機能してきていると評価できる。但し、ヒヤリハットが発生した際に、消極的捉え方が拭えないため、ヒヤリハットを検証する目的が、重大事故を防ぐためのものであるという認識をより深める必要がある。

(10) 福祉オンブズマン

月に 1 度の来訪いただき、近況報告（感染症等の状況確認や、関係機関との連携等）を行った。特に発達気になる子や、不適切な養育が疑われる子についての関係機関との連携については、様々なご意見やご助言をいただいた。

(11) 一時預かり事業（利用状況 4-(4)参照）

6 月以降利用人数が定員を超えており、一時預かりに対応する職員の配置が困難となり、実施を見合わせた。3 月の利用に関しては、新年度入園予定の園児の保護者の就労状況を踏まえ、入園後の慣らし保育をなるべく短期間で終わらせたいとの保護者の意向に配慮し行った。

(12) 延長保育事業（利用状況 4-(3)参照）

保護者が勤務時間の都合で、延長保育を必要とする家庭に対応。

(13) 防犯・防災管理（避難訓練の実施回数等を記載、業者による設備点検、法定点検を記載）

下記項目を実施し、非常時の対応力強化を図った。

- ・ 警備請負業者へ依頼し、年 1 回の不審者侵入を想定した防犯訓練を実施
- ・ その他避難訓練（地震 5 回、火災 5 回、原子力 1 回、ミサイル 1 回、大雨洪水 1 回）
- ・ 年 2 回の総合避難訓練実施
- ・ 4 月 1 日 新採用職員に対し、消火、通報訓練を実施
- ・ 消防用設備等点検 2 回（6 月 9 日、12 月 6 日）
- ・ 消防立入検査 1 回（9 月 26 日）

(14) 虐待防止について

不適切な養育が疑われるケースについてはマニュアルに基づき担任がチェックリストに記入。その後、担任・主任・園長間で協議し、必要に応じて市の保健師や要保護児童対応協議会へ連絡し、連携を図った。関係機関との更なる連携が課題として残る。

(15) 苦情の受付

(1) 苦情や要望の状況報告

内容	苦情	要望
発生件数	2 件	1 件
継続中・未処理	0 件	0 件
解決済み	2 件	1 件

苦情等の解決のための仕組みについては、ポスターの掲示やしおりへの掲載等で積極的にPRしている。また玄関へのご意見箱の設置、用紙の陳列を行い利用促進を図っている。

(2) ご意見・ご要望の内容、対応方法

1. 子どもが登園を嫌がり、夜中や登園前に大泣きするようになった。担任に何度か相談したが、親身になっていないと感じる（園児母より園長との面談にて）
 回答→ご心配をおかけしたことを謝罪し、担任へも母の思いを伝え、今まで以上にコミュニケーションを密に測り、子どもの様子を共有していくことで、理解を求めた。
 対策→当該案件を受け、人権擁護意識向上の必要性があると判断し、全国保育士会発行のセルフチェックシートを活用し、体系的な園内研修を行っていくことにした。
2. 生活発表会時の子どもの立ち位置につて不満がある(園児母より園長との面談にて)
 回答→母からの上記意見を受け、担任に事実確認後、三者で面談を行う。生活発表会に向けてのクラスの様子を説明。遊戯の立ち位置についてはグループごとに子ども達が話し合っ決めていたことや、踊りの途中で立ち位置を変える配慮や、遊戯で端の子は、うたの時には中央寄りにするよう配慮している事などを伝える。その後の話で、立ち位置への不満というよりも、保育園以外でのクラスの親同士、子ども同士の関わりへの不満も吐露。母の思いに耳を傾け、今後も特に行事については子どもの意見を聞きながら保育園として配慮していく旨伝え、了承していただく。
3. 送迎時に、特定の保育士の対応が悪い。子どもが靴を脱げず座っているのにその場に放置し何もしてくれない(園児母より口頭で主任宛)
 回答→上記意見受け、園長より陳謝すると、母より、今回に限った事ではなく、当該職員については毎回不愛想で不快に感じているとの話もあり。重ねてお詫びし、指導徹底していくことを約束。

(16) 個人情報の取扱いと保護

園児やご家族の個人情報は、個人情報保護方針及び特定個人情報規定に基づき取り扱っている。規定に基づき個人情報の漏洩を防止し、情報の取扱いについての重要性への理解を深めるため、年に一度園内研修を行った他、職員会議などで周知・徹底している。

(17) 行事实施報告

① 年間行事

実施日	行事名	場所等
4月1日	入園・進級式	ホール
4月	こどもの日の集い	ホール
5月13日～5月17日	個人面談週間	事務室
5月15日	歯科検診	ホール
5月21日	春の遠足	水源地公園
6月5日	総合避難訓練	園全体・ホール
6月7日	大掃除	園全体
6月11日	保育参観	各クラス
6月27日	内科健診	事務室
7月6日	夏祭り	園庭他
7月18日	慰問	桜木園
7月27日	楽市楽座参加(4.5歳児)	アベイル前
9月7日	運動会	園庭
9月18日	祖父母参観	ホール
9月20日	緑の幼年団 緑化推進活動	下北少年自然の家
9月26日	秋の遠足	早掛沼公園
9月30日	十五夜の集い	ホール
10月3日	保育参観 2.3.4.5歳児	各クラス
10月4日	観劇鑑賞	下北文化会館
10月7～11日	個人面談週間	事務室
10月10日	歯科検診	ホール
10月25.26日	赤十字作品展	松木屋
11月9日	生活発表会	ホール
11月12日	寿司屋うえ乃来園、お寿司屋さん体験	ホール
11月21日	内科健診	事務室
12月12日	大掃除	園全体
12月17.18日	職員健康診断	おおみなと園・桜木園
12月19日	クリスマス会	ホール
12月20日	郵便局サンタ 47	ホール
12月26日	もちつき	ホール
2月3日	節分の集い	ホール・園庭
2月18日	二小交流会	二小運動場
3月3日	ひな祭り会	ホール
3月7日	卒園式	ホール
3月19日	お別れ立食パーティー	ホール

② 月間行事の実施状況

- ・毎月1回・・・誕生会 避難訓練 縦割り保育 クッキング
- ・ムチュリンガル教室(10回)
- ・クッキング教室(9回)

(18) 地域交流、ボランティアの受入れ

実習生・高校生・中学生の職業体験等

8月16日～8月27日	明の星短期大学（3人）	実習生
8月29日～8月30日	大間中学校（3人）	体験学習
8月29日～8月30日	田名部中学校（5人）	体験学習
2月10日～2月21日	明の星短期大学（3名）	実習生
2月17日～3月2日	中央短期大学（1名）	実習生

今年度より田名部中学校2学年全員を対象に家庭科の授業の一環で保育体験の受け入れを実施
実施日 11/11、11/13、11/15、11/18、11/19、11/22

(19) 固定資産物品購入実績

品名	購入額	備考
ブックツリー	484,920 円	
パナソニックジアイーノ 3台	360,000 円	補助金対象

(20) 修繕実績

修繕箇所	金額
ガラス修繕（つぼみ組）	36,310 円
ガラス修繕（給食室前・つぼみ組）	373,720 円
防犯カメラ移設工事	27,000 円
固定遊具修繕（滑り台・ジャングルジム）	143,000 円
軟水器カートリッジ交換	31,900 円
スチームコンベクション修理（水道水の塩素が汚れとみなされエラー表示が出る）	19,800 円
スチームコンベクション修理（上記修理で改善されなかったためシリンダーの交換）	28,380 円